

「あすなろ夢建築」 第20回 大阪府公共建築設計コンクール審査会

－ 各作品に対するコメント（作品別）－

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">最優秀作品賞 (岳本 大樹)</p>	<p style="text-align: center;">2-224</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機能と形態がほぼ合致し、明解なプランニングがなされている。 ・ ハイサイドライトによる自然採光も有効。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高さの違う三本の長方体の組み合わせが美しい。 ・ 南北軸を基調とし、うまく機能室が配置され、使いやすさとシンプルな造形が美しい作品である。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三層からなる平面構成で空間の独自性と連続性を創出。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見事な3列構成のプランニング。 ・ 東西に壁が多いが、南北の抜けを強調している。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各室のつながり、構成がよい。 その構成を大きく3つのグループにし、外観上も階高を変え、それが特徴をもった魅力のある集会所にしている。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンプルな動線計画で利用のしやすさを良く考えた作品。 ・ 3つの異なるボリュームを結びつけ、造形的にも美しい作品となっている。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">優秀作品賞 (上門 達彦)</p>	<p style="text-align: center;">2-223</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 配置は通りと平行の方が望ましいが、外部の庇の列柱が全体の調子をととのえ、集会室の開放感もある。 • プラン上での機能の分節も明解。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水平線を基調としたシンプルな形態が美しい。 • 高さの違う建物の入れ方も興味深い。 • 張り出し屋根と列柱のピロティ空間の中、屋外空間での居住者のアクティビティ、ふれあいが楽しみな作品である。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大きな庇が作りだす内外空間の伸びやかさとコミュニティのにぎわい。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 縦の配置がきれいだが、通りに対して閉鎖的すぎる。 • 屋根のルーバーから入る光の陰影がきれいかも。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 南北に長辺にうまく各室を配置し、階高の変化や西側の長い庇が外観に特徴をつけている。 • 各室がすべて外部に開いており、外部の人々が親しみやすくする工夫がある。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団地からのアプローチのしやすさや集会室の利用のしかたについて良く考えた作品。 • 屋根ルーバーも造形的に美しい。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">優秀作品賞 (久保田 伸次)</p>	<p style="text-align: center;">1-26</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高校生の作品としては、プランニングが明解で、集会室の外部への開放のしかたも適切か。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各機能室がコンパクトにまとめられ、使いやすい作品である。 • 集会室、和室が南面することで環境にも配慮され、屋内と屋外をつなぐウッドデッキ、リズムカルな勾配屋根の組み合わせ等、工夫の多い作品である。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 逆 S 字の全体形が諸室と外部を上手く接続させる。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 屋根の変化が内部の空間と無関係なのは残念。 • 変化に富んだウッドデッキがおもしろい。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各室のつながりをうまくし、開放性のある南西部にウッドデッキを設け、外部へのひろがりの演出が人を呼び込み親しみのあるものとしている。 <p>(F.委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 集会所の機能についてよく勉強している。利用しやすい良い作品。 • 屋根の構成と室内空間との関係がわかりにくい。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">優秀作品賞 (谷口 弘一)</p>	<p style="text-align: center;">2-137</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • プランニングは動線が短く、機能的にも明解に分離されている。 • 外部からの集会室内の行為も見やすく、開放感がある。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 集会室等、各機能空間をコンパクトにまとめ、使いやすさを追求した作品となっている。 建物を敷地の北側に配置し、南側の広場と集会室、カフェとの見る・見られる関係を望みだし、屋外と屋内での行為の親密な関係性が期待される。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンパクトでありながら、使い勝手の良い構成。 • 外部空間とも呼応がうまくいっている。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 空間のつながりが上手。プランもきれい。 • ボリュームの微妙な高低のつけ方が良い。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各室のつながりや各室の位置、外部への開放性が特徴のある敷地とうまくマッチしている。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団地からのアプローチや集会所も利用しやすく、動線もよく考えている。 • 屋根の高さに変化をつけ採光も考えている。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">佳 作 (清田 哲平)</p>	<p style="text-align: center;">1-33</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高校生の作品としては、機能とプランの分節が明解で、通り側のピロティも半屋外空間として有効に使えるそうである。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水平に伸びやかで、半屋外空間のピロティでの居住者の多様な行為、行動がコミュニティ形成に寄与することが、楽しみな作品である。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピロティ空間が作り出す人々のふれ合い。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピロティ案が良い。 • 開放的でピロティで何か行為が行われることを期待する。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 比較的南北に長辺にし、列柱がピロティ風の空間をつくり、親しみやすさ、入りやすさを演出している。南面に集会所の一部しか面していないので、効果が半減しているかもしれない。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水平に伸びやかに広がった屋根及び室内の各部屋との連続性がよい。 • ただ、敷地境界との関係を考えると建物配置にもう少し工夫の余地がある。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">佳 作 (難波 佑馬)</p>	<p style="text-align: center;">2-229</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 形態上の凹凸がやや多いが、エントランスから左右分離されたプランニングは明解である。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 東側の通りに平行に配置され、南北軸を基調とし、機能空間を配置し、使いやすさの点で優れている。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 明解な機能構成が周辺環境とうまく調和する様、設定されている。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • プランニングはまとまっているが、もう少し空間的なおもしろさが欲しい。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 変化に富んだ屋根高さ、外観の凹凸が特徴をつくっている。 • プランも各室が使いやすい形となっている。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団地からのアプローチもしやすく、建物の各室とのつながりも良く考えた作品。 • 玄関の半円形の屋根がつけたしのような感じ。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">佳 作</p> <p style="text-align: center;">(宮崎 翔太)</p>	<p style="text-align: center;">2-141</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通りに対して平行に配置された集会室等は、外部に十分に開放され、ピロティ状の空間も有効に機能しそうである。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 東側の通りに沿って集会室が配置され、団地空間に集会室での行為、にぎわいが、にじみ出しが楽しめる作品である。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • リニアに配された諸室。その諸室でのアクティビティが通りにあふれコミュニティを創出する。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内と外が開放的でつながっているのが良い。 • 可動、雨戸の脱着で夏と冬、雨の日の対応がおもしろい。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 比較的南北に長辺にし、列柱がピロティ風の空間をつくり、親しみやすさ、入りやすさを演出している。集会所すべてが南面し、そこでなごやかな楽しい活動がすべて見え、いきいきした団地づくりに寄与している。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 集会所へのアプローチや利用状況が外からも良く見え、ふれあいを求める入居者にとって親しみが得られる良い作品。 • ただ、遊廊下のスペースの活用や外部空間との処理が課題。 • 集会所の間口が狭い。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">奨 励 賞</p> <p style="text-align: center;">(小西 明)</p>	<p style="text-align: center;">2-81</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 建物に明確な一つの形態を与えた点は、造形的意図を明確に表明しており、今後に期待したい。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 建築物の造形に意欲的に取り組んだ力作である。 • 提案された造形に至るプロセスを表現されたプレゼンテーションは興味深い。フィジカリティに課題が多い。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1枚の板を織り込み構成される集会所。板の間から入り込む光がオリジナリティ高い空間を作り出している。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 建物構成がおもしろい。 • 形だけでなく、内部のスペースをもう少し考えてほしい。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 五角形の平面フォルムの中に、必要な各室を配置しているが、使い勝手を捨て、フォルムの面白さをねらった、1つの設計の解決法かもしれない。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 府営住宅集会所としては課題が多いが、造形的な美しさを追求し、プレゼンテーションもすばらしい。良くここまでまとめあげた。

賞 名	作品 番号	コ メ ン ト
<p style="text-align: center;">奨 励 賞 (庄司 竜太)</p>	<p style="text-align: center;">2-102</p>	<p>(A 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • コートハウスの庭と屋内空間の関係をとらえ、各室に自然採光・通風をもたらしている点は評価できる。 <p>(B 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 集会所内に積極的屋外空間を取り込み、取り込まれた屋外空間を核に屋内の機能空間を配置した意欲的な作品である。 <p>(C 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • あえてコートハウスとし、団地という日常の風景とは全く異なる空間の創出を企図している。 <p>(D 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピロティ（テラス）、中庭の配置が良い。 • 中庭を壁で囲んだ時の外部とのつながりをもう少し考えてほしい。 <p>(E 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 囲い込まれた中に中庭を設け、吹きさらし廊下で各室をつなげるという特徴は面白いが、夏冬の寒暖時の行き来に実際利用するものにとっては、居心地がよくない。 <p>(F 委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • コートハウスのイメージをふくらませて府営住宅集会所として提案。空間的な美しさやプレゼンは素晴らしい。ただ、集会所として立地を考えると、また、入居者の利用促進を考えると、オープンな方がよい。